

第二八一回松山市観光俳句ポスト

第二八一回開函

「渋柿」主宰 渡邊 孤鷺 選

特選三句

伊予の秋投句ポストは錆てあり

神奈川 横濱市 井上 邦久

鯛雲伊予一國を覆ひけり

兵庫 神戸市 古川 顕

吟行を兼ねて旅する秋の伊予

兵庫 姫路市 山本 武弘

入選二十句

秋風に勝るぬくもり道後の湯

京都府 京都市 赤木 玲美

道後の湯ぶらりと帰る手に蜜柑

大阪府 大阪市 今村 久美子

石鹼に蜜柑がかほる道後の湯

東京都 板橋区 榎並 伸一

国四つめぐり道後は秋夕焼

山梨 県 甲斐市 岡田 行隆

立ち寄りし道後湯宿に冬ぬくし

岐阜 県 高山市 加藤 喜美代

湯浴みして道後の街に秋思ふと

長野 県 飯田市 桜井 芳子

等身の子規と背くらべ秋の旅

広島 県 福山市 高橋 千恵子

簡素なる漱石旧蹟小鳥来る

静岡県 静岡市 土肥 典子

晴れわたる道後の空に秋深し

三重 県 四日市市 長野 わかよ

秋の朝又新殿は黄金色

熊本 県 熊本市 平田 幸子

句碑あまた石手寺の端に石路の花

千葉 県 浦安市 福田 迪子

道後の湯杖を休める秋遍路

山口 県 光市 正岡 留美

俳都なり子規の句碑立つ秋日射

愛媛 県 大洲市 山田 勝利

そこここに俳句ポストや秋の風

群馬 県 前橋市 中澤 不二

子規堂の遺品身に入むものばかり

香川 県 綾歌郡 福家 市子

(市内)

「もつてこい」伊予弁がとぶ秋祭

愛媛 県 松山市 妹岡 郁枝

二の丸や母校のあとの冬紅葉

愛媛 県 松山市 日野 和美

城北の寺町萩の咲きこぼれ

愛媛 県 松山市 松田 とよ

(十五歳以下)

さいばしをこがしてさんま焼き上がる

愛媛 県 松山市 小田宮 いちか

朝顔が隣のソルと糸電話

東京都 江戸川区 北山 晃生

伊予灘ものがたり賞

伊予灘の撮影どきの秋入日

香川 県 高松市 大広 仁

投句総数 一五九四

市外 一〇二七

市内 五六七

投句者総数 九三七

市外 六七四

市内 二六三

開函日 平成二十八年十一月三十日